



アフタヌーンセミナー 6

モジュール型塩基編集が実現する高精度なゲノム編集： 治療用途のゲノムエンジニアリングを支える Pin-point™ プラットフォーム

2026年7月24日(金) 15:00-15:45

第3会場 大阪国際会議場 10F(会議室会議室1009)

細胞・遺伝子治療の高度化が進む中、編集システムそのものが治療成功を左右する重要な要素として注目されています。Pin-point™プラットフォームは、DNA標的化、酵素リクルートメント、および触媒活性をそれぞれ独立して制御できるモジュール型の塩基編集アーキテクチャであり、従来の固定構成型エディターと比べて高い柔軟性を提供します。

本講演では、このモジュール設計を活用して、さまざまな治療用途における編集精度、細胞健全性、スケーラビリティ、および複雑なゲノム編集への対応をどのように最適化できるかをご紹介します。多重遺伝子改変細胞治療、造血幹細胞、ならびに精密遺伝子修復プログラムにおけるデータをもとに、編集システムの挙動を調整することが、開発および製造における重要な成果にどのような影響を与えるかを示し、次世代の治療用ゲノムエンジニアリングを支える可能性について考察します。

演者

Amanda Haupt
Business Unit Manager,
Base Editing,
Revvity

司会

志村 正紀
Sr. Manager Sales,
Revvity



共催：第32回日本遺伝子細胞治療学会学術集会 / Revvity, Inc.

www.revvity.com

Copyright ©2026, Revvity, Inc. All rights reserved.

Revvity is a trademark of Revvity, Inc.

All other trademarks are the property of their respective owners.

Pin-point塩基編集試薬は研究用途にのみ使用可能であり、診断目的やヒトまたは動物への直接投与には使用できません。Pin-point塩基編集プラットフォームテクノロジーは、Revvityからの商業ライセンスのもとで、臨床または診断研究および商業化のために利用可能です。

3059678_JP